

令和 7 年 第 1 7 回 定 例 公 安 委 員 会 会 議 録

開 催 日 時 令和 7 年 6 月 1 2 日（木）午前 1 1 時 8 分～午後 2 時 3 0 分

開 催 場 所 警察本部

第 1 定例会議

1 開催時間 午後 1 時 3 0 分～午後 2 時 0 分

2 出席者

公安委員会 勝部委員長 久本委員 笠田委員

警察本部 青山警察本部長 森本警務部長 渡邊首席監察官
 細田刑事部長 永島警備部長 山本警察学校長
 永井情報通信部長 生田警務部参事官

（事務局等～柳原公安委員会補佐室長、総務課員）

3 議題事項

警察職員等の援助要求（警備部）

警察本部

広島県公安委員会から、「令和 7 年 6 月広島県行幸啓」に伴う警衛に万全を期すため、特別派遣の援助要求があった。

委員

戦後 8 0 年を迎え、両陛下が被爆地等を回られている。この度の特別派遣で、鳥取県警察からは延べ 3 4 人の方が警衛に当たるとのことである。暑い時期となるので、健康に留意しながら頑張ってください。

委員

戦後 8 0 年の節目の年となり、両陛下が地方を御視察されており大変有り難いことである。梅雨の季節となり、熱中症対策を行う上では気温より湿度に気を付けなければならないと言われている。体調管理をしっかりしていただき、警衛に万全を期していただきたい。移動に際しては、事故防止に留意していただきたい。

委員

特別派遣期間中は、気温が高くなる見込みである。体調には十分留意していただき、しっかり頑張っていたきたい。

4 報告事項

○維持可能な警察施設の運営に関する令和7年度取組（警務部）

○令和7年夏の交通安全県民運動の実施（交通部）

（1）維持可能な警察施設の運営に関する令和7年度取組（警務部）

警察本部

鳥取県では、人口減少、高齢化の進行に伴う税収の減少などにより厳しい財政事情が続く中、平成28年3月に、知事部局において、公共施設の全体を把握し、長期的な視点をもって長寿命化・更新・統廃合などを計画的に行うこととする、「鳥取県公共施設等総合管理計画」が策定され、警察本部においても「鳥取県警察本部施設保全計画」並びに「鳥取県警察本部交番・駐在所中長期整備計画」及び「鳥取県警察本部施設中長期保全計画」を策定の上、財政負担を軽減・平準化し、健全で維持可能な警察運営の実現に向けた取組を推進しているところである。

令和7年度に予定する主な事業としては、運転免許試験場、鳥取警察署、警察本部庁舎の空調設備改修工事、警察本部庁舎外壁改修工事、倉吉警察署庁舎棟トイレ改修工事等となっており、施設が長く使えるようにメンテナンスをしていく。また、米子警察署旗ヶ崎交番、黒坂警察署江尾駐在所の新築・解体工事を予定している。

今後の方向性と取組については、令和9年末までに一般照明用蛍光灯の製造及び輸出入が段階的に廃止されることを見据え、照明器具のLED化の事業計画を前倒して行う予定としている。予防保全により長寿命化に取り組んだ場合、従来の改修方法である修繕が必要になってから事後保全で施設を改修した場合の経費と比較して、25年間で約64億円削減でき、年平均で2.5億円の削減効果を見込んでいる。今後も、各種中長期計画に基づく予算要求を県財政当局に行っていくとともに、適切な改修や定期的な点検を行うことにより、警察施設の長寿命化を図ることとしている。

委員

厳しい財政事情が続く中ではあるが、警察施設が整っていることは、県民の安全安心につながることから、必要なところには予算を確保していただきたい。

委員

建築コストや資材の高騰により予算措置等で苦慮されているかと思うが、限られた予算の中、最大限の効果を生み出していきたい。交番等の新築工事に当たり、ランニングコストや快適性を含め、建物の長寿命化を行うことはSDGsにも合致するので良いことだと思う。

今回は挙げられていないが、警察学校の設備関係についても注力していきたい。オープンカレッジ等で来られる受験者等に納得していただくことにつながる必要な投資だと思うので、今後の課題として考えていきたい。

委員

物価が高騰しており、県民も様々な場面で影響を受けているところであるが、施設に係る予算について、更新工事など必要な部分には適正に予算を要求していきたい。LED化もそうであるが、今後はバリアフリー化も必要になってくると思うので、先を見据えて計画を立てていきたい。

(2) 令和7年夏の交通安全県民運動の実施（交通部）

警察本部

令和7年夏の交通安全県民運動について、7月14日から23日までの10日間実施する。この時期は、暑さによる疲労などから漫然とした運転による交通事故の発生が懸念される。また、幼稚園や小・中学校等も夏休みを迎える時期であり、県民に広く交通ルールの遵守と交通マナーの向上を呼び掛け、交通事故防止の徹底を図ることを目的として行われる。

期間中の主な行事について、運動初日には倉吉警察署が自治体等の関係機関とともに車両パレードを行う予定である。また、その他の警察署においても管内の住民に向けた各種広報活動を実施する予定である。

運動重点に沿った取組について、こども、高齢者及び障がい者の交通事故防止関係では、朝の通園、通学路における交通危険箇所での街頭指導等を行う。また、高齢者宅訪問を実施し、夜間・早朝に外出する際に事故防止に役立つ反射材の着用等についての指導や反射材貼付活動を行う。自転車利用者のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底関係では、自転車安全利用五則に基づいた啓発活動の推進や重点路線などでの交通指導取締を行う。鳥取県交通対策協議会、鳥取県及び鳥取県警察が合同で、「ヘルメット着用をめぐってラップバトル」と題するヘルメット着用啓発動画を製作し、昨年2月から鳥取県公式YouTubeチャンネル、とっとり動画チャンネルで公開している。動画では「髪型が乱れるから私は被りたくない」と女性がラップで語り、これに対して現役の警察官がヘルメット着用の重要性を軽快なラップで返答するといったものである。動画は9万回程度再生されており、SNSを活用しての広報啓発活動に努めているところである。飲酒

運転の根絶関係では、飲酒を伴う交通事故総数が昨年より増加しており、交通指導取締の強化と併せて職場や家庭から飲酒運転をなくす環境づくりを推進するため、飲食店等を中心に飲酒運転の根絶を呼び掛ける。また、鳥取警察署が関係機関・団体とともに繁華街の通行人等に対して飲酒運転根絶の広報啓発活動を実施することとしている。

以上のとおり、子どもや高齢者の交通事故防止はもちろんのことであるが、一般ドライバーについても交通事故に遭わない、起こさない各種対策を行う。また、暑い時期の交通安全運動となるので、警察官と関係機関の方の熱中症と受傷事故の防止にも配慮しながら活動を行っていく。

委員

夏の交通安全運動でパレードが行われるとのことであるが、暑い時期であるので、体調に気を付けながら活動していただきたい。中でも、飲酒運転が一件でも減るように各種取組をお願いする。

委員

運動重点の中で、先頭に子どもの交通安全が掲げられている。常々思っているが、子どもを交通事故から守ることが最優先の課題である。通学路や生活道路において、かなりの速度を出して走行する車両を見掛けることから、パトロールや取締りを強化し、遵法意識の向上に努めていただきたい。

飲酒運転に関して、飲酒運転は反社会的な行為であることを認識していただかなければならないと思う。

交通安全は職場からはじまる。飲酒チェックが義務化となったが、形骸化することなく、しっかり実施することで、二日酔いの飲酒運転をなくすことができる。安全運転管理者等を通して、しっかり指導をお願いする。

委員

7月は夏休みに突入する時期であり、各警察署においては工夫を凝らした警察活動を展開していただきたい。夏場は飲酒の機会が増え、飲酒運転が増えることが予想されるので、夜間の検問を徹底していただくなど、引き続き対策をお願いする。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取6件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

3 事前説明

維持可能な警察施設の運営に関する令和7年度 of 取組

4 報告事項

監察報告

5 決裁

- ・ 公安委員会宛て苦情に対する回答
- ・ 犯罪被害者相談員等の変更報告

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。